

科目名	畑作物生産学	教員名	ひがしだ しゅうじ 東田 修司	開講 コース	作物生産 花園芸	2年次	前期
<p>・目的と内容</p> <p>本講で扱う畑作物とは、主要畑作4品であるてんさい、ばれいしょ、豆類、小麦である。これらの作物はヒトに生存と活動のためのエネルギーを供給するため、広い面積で手をかけずに粗放的に栽培されている。面積当たりの利益も大きくない。それだけに、なるべく労力と経費をかけない技術、少しでも多く穫る技術が重要となる。それぞれの作物の由来、特性、栽培暦、栽培技術、品質上の話題、品種などを逐次解説する。後半には各品目に共通する連輪作などについて取り扱う。</p>							
<p>・授業計画 [単位数：2 単位、授業週数：15 回]</p> <p>[前期]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．世界の畑作物生産 2．小麦の特性 3．小麦の生産技術1 4．小麦の生産技術2 5．豆類の特性 6．豆類の生産技術1 7．豆類の生産技術2 8．ばれいしょの特性 9．ばれいしょの生産技術 10．てんさいの特性 11．てんさいの生産技術 12．連輪作 13．緑肥 14．除草技術 15．まとめ 							
<p>・講義の進め方</p> <p>配布するプリントをベースに講義を進める。映像資料なども適宜用いる。</p>							
<p>・試験と成績評価</p> <p>ペーパーテスト、授業態度などで評価する。</p>							
<p>・担当教員から受講生諸君へ</p> <p>実物をイメージすることによって、講義の理解度が高まる。実験実習農場や拓大周辺の畑作物に注意を向けて、講義と関連づけて理解を深めて欲しい。配布したプリントは必ずファイルして、それ以降の講義に持参すること。講義中に過去のプリントを用いて復習することがある。</p>							
<p>・使用教材</p> <p>教科書：プリントおよび関連資料を配付する 参考書：北海道の作物管理、ニューカントリー-2005 年秋臨時増刊号</p>							